

令和 6 年度病床機能再編支援事業の事業計画について
(大崎・栗原区域)

1 趣旨

地域医療構想の実現を図る観点から、地域医療構想調整会議の議論の内容及び宮城県医療審議会の意見を踏まえて行う自主的な病床削減や、統合による病床廃止に取り組む際の財政支援について、次のとおり令和 6 年度事業として実施するもの。

2 事業区分及び事業活用予定の医療機関等

事業区分	支援の概要	令和 6 年度活用予定の医療機関（大崎・栗原区域）
単独支援給付金支給事業	病床数の減少を伴う病床機能再編に関する計画を作成した医療機関（統合により廃止する場合も含む）に対し、減少する病床 1 床当たり、病床稼働率に応じた額を支給するもの。	<u>栗原市立若柳病院</u> 、 <u>あさの眼科医院</u>
統合支援給付金支給事業	統合（廃止病院あり）に伴い病床数を減少する場合のコスト等に充当するため、統合計画に参加する医療機関（統合関係医療機関）全体で減少する病床 1 床当たり、病床稼働率に応じた額を支給するもの。	該当医療機関なし
債務整理支援給付金支給事業	統合（廃止病院あり）に伴い病床数を減少する場合において、廃止される医療機関の残債を統合後に残る医療機関に承継させる場合、当該引継債務に発生する利子について一定の上限を設けて統合後医療機関へ支給するもの。	該当医療機関なし

※ 給付金事業の詳細は、別添参考資料（病床機能再編支援補助金について）のとおり

3 事業計画の内容

医療機関名	診療科	病床稼働率	病床削減前の稼働病床数(A)		過去に本事業で支給済の病床数(B)		事業対象となる削減病床数 (C)		病床削減後の許可病床数(A)+(B)+(C)		病床削減に係る方針・考え方
栗原市立若柳病院	内科 外科 整形外科	69.8%	高度急性期	0	高度急性期	0	高度急性期	0	高度急性期	0	大崎・栗原医療圏の人口構造の変化を見通し、また、栗原市の人口の減少をふまえ、令和 2 年度の栗原市病院事業経営健全化計画の中で、地域包括ケア病床の導入や機能分化について検討することがあり、令和 3 年 4 月 1 日から、許可病床数 120 床（急性期 90 床 慢性期 30 床）のうち急性期病棟 90 床から 60 床（急性期入院料算定 25 床・地域包括ケア算定病床 35 床）に削減し、尚且つ、令和 5 年 4 月 1 日から 60 床（急性期入院料算定 25 床・地域包括ケア算定病床 35 床）を地域包括ケア算定病床 45 床にした。 そして、機能分化で、急性期は、栗原市立栗原中央病院。地域包括ケア病棟・慢性期及び在宅診療は栗原市立若柳病院。慢性期は栗原市立栗駒病院と役割を明確にした。
			急性期	82	急性期	▲22	急性期	▲15	急性期	45	
			慢性期	29	慢性期	1	慢性期	0	慢性期	30	
			対象 3 区分計	111	対象 3 区分計	▲21	対象 3 区分計	▲15	対象 3 区分計	75	
			(以下参考)								
			回復期	0	回復期	0	回復期	0	回復期	0	
			合計	111	合計	▲21	合計	▲15	合計	75	
あさの眼科医院	眼科	7.7%	高度急性期	0	高度急性期	0	高度急性期	0	高度急性期	0	現在当院では主に白内障手術を入院病床を使って行っているが、昨年将来外来手術にする方向で 2 床減床した。今回、残りの病床も減らして無床診療所にし、すべて外来手術で行う予定。
			急性期	6	急性期	▲2	急性期	▲4	急性期	0	
			慢性期	0	慢性期	0	慢性期	0	慢性期	0	
			対象 3 区分計	6	対象 3 区分計	▲2	対象 3 区分計	▲4	対象 3 区分計	0	
			(以下参考)								
			回復期	0	回復期	0	回復期	0	回復期	0	
			合計	6	合計	▲2	合計	▲4	合計	0	